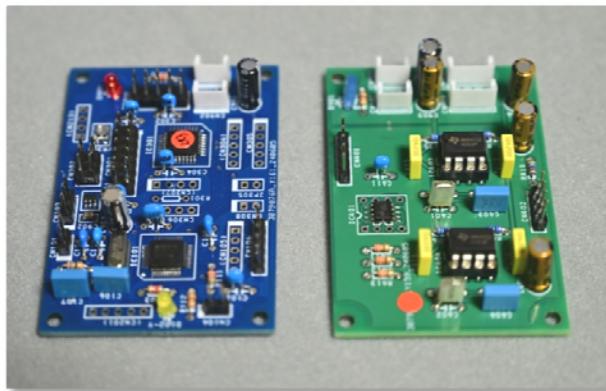


PC で Over Sampling



## DIX9211 + PT8211 DAC基板セット

この度は、DIX9211 + PT8211 DAC 基板セットを  
お買い上げ頂きありがとうございました。  
組み立て前に本説明書をご一読いただきますようお願い致します。



※ ケーブルやソケット、LED等の色が写真と  
異なる場合があります。  
改良によって、レイアウトなどが変更になる場  
合があります。  
※ DAI基板、DAC基板 単品の場合もあります。

### < DIX9211 + PT8211 DAC 基板セットの 特徴 >

DIX9211 DAI 基板と PT8211を搭載の DAC基板です。  
DIX9211は、44.1KHz～192KHzまで適応しますので PC側でのオーバーサンプリング的な  
動作が可能です。

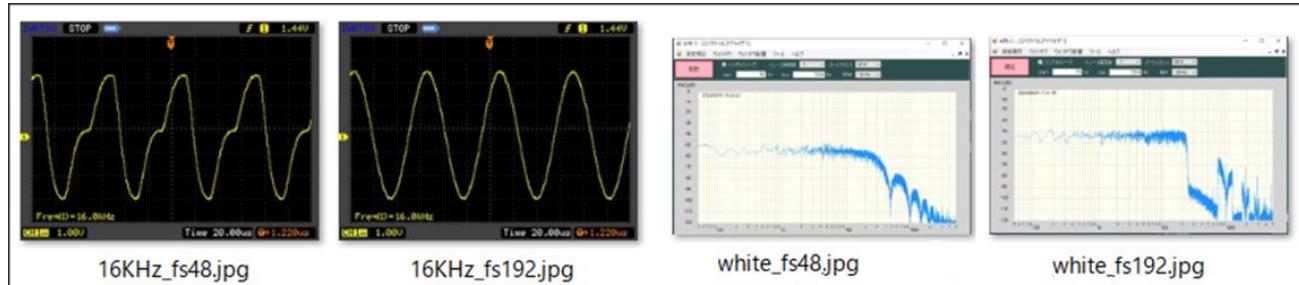
#### ◆ DIX9211 DAI 部

- TI製 DIX9211 を使用し制御用に ATTINY88を使用しています。
- 入力は、同軸 1入力および 光端子 1入力です。
- 適応する SPDIF入力は、44.1KHz～192KHz です。
- デジタル出力は、Right Justified-16/デフォルト で I2S 及び Left justified に対応可能です。
- 基板サイズ : 47 x 72 mm (system72)
- 電源 : 5V

#### ◆ PT8211 DAC部

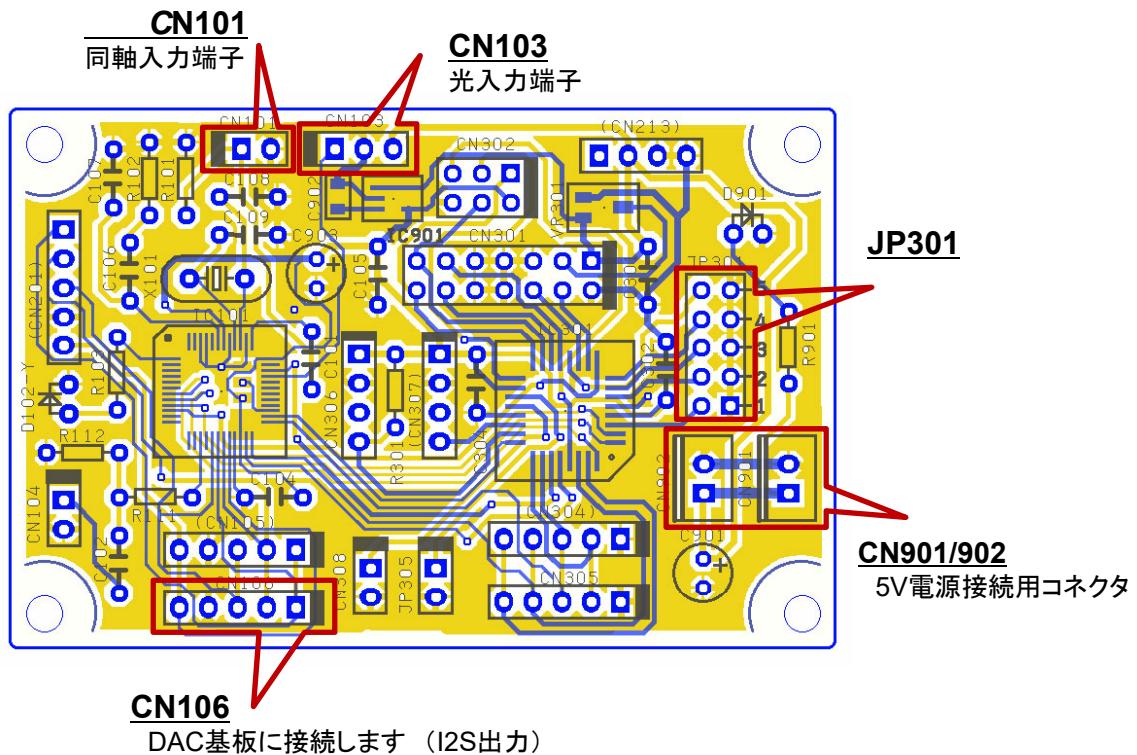
- 16bit R2Rタイプの DAC IC PT8211を搭載してます。
- LPFオペアンプは uPC4570/NE5532 等 出品時に指定のもの。
- 出力電圧 : 約 2 Vrms
- 基板サイズ : 47 x 72 mm (system72)
- 電源 : 5V 、±15V (又は±12V)

PCの SPDIFクロック を変えて出力した場合の波形変化の例



詳細は、[https://www.mi-take.biz/system72/DAC2024/DIX9211/overClock\\_PT8211.html](https://www.mi-take.biz/system72/DAC2024/DIX9211/overClock_PT8211.html) を参照

## DIX9211 DAI基板 部品配置図



## 接続と動作

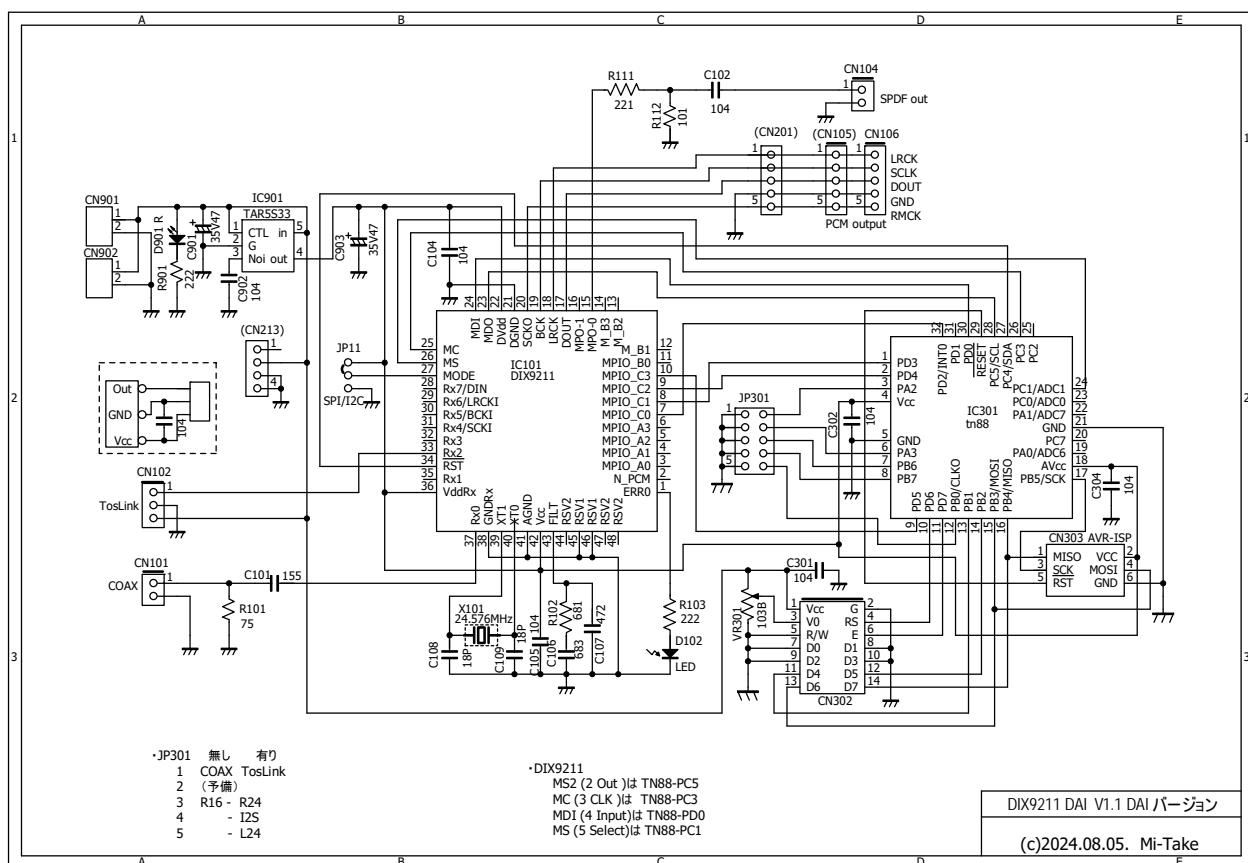
- ・ CN901は、5V電源に接続します。 CN901/902は並列接続となってます
- ・ CN101 は同軸入力端子です
- ・ CN103 は光端子入力端子です
- ・ CN106 はDAC接続用出力端子です。 DAC基板と接続します
- ・ CN301には、SC1602BS 相当のLCDが接続できます。 無くても動作には影響ありません
- ・ JP301 は、SPDIF入力の切り替え、及び I2Sモード切替 のジャンパー用です

デフォルトは ジャンパー無し です。 下図の様になります

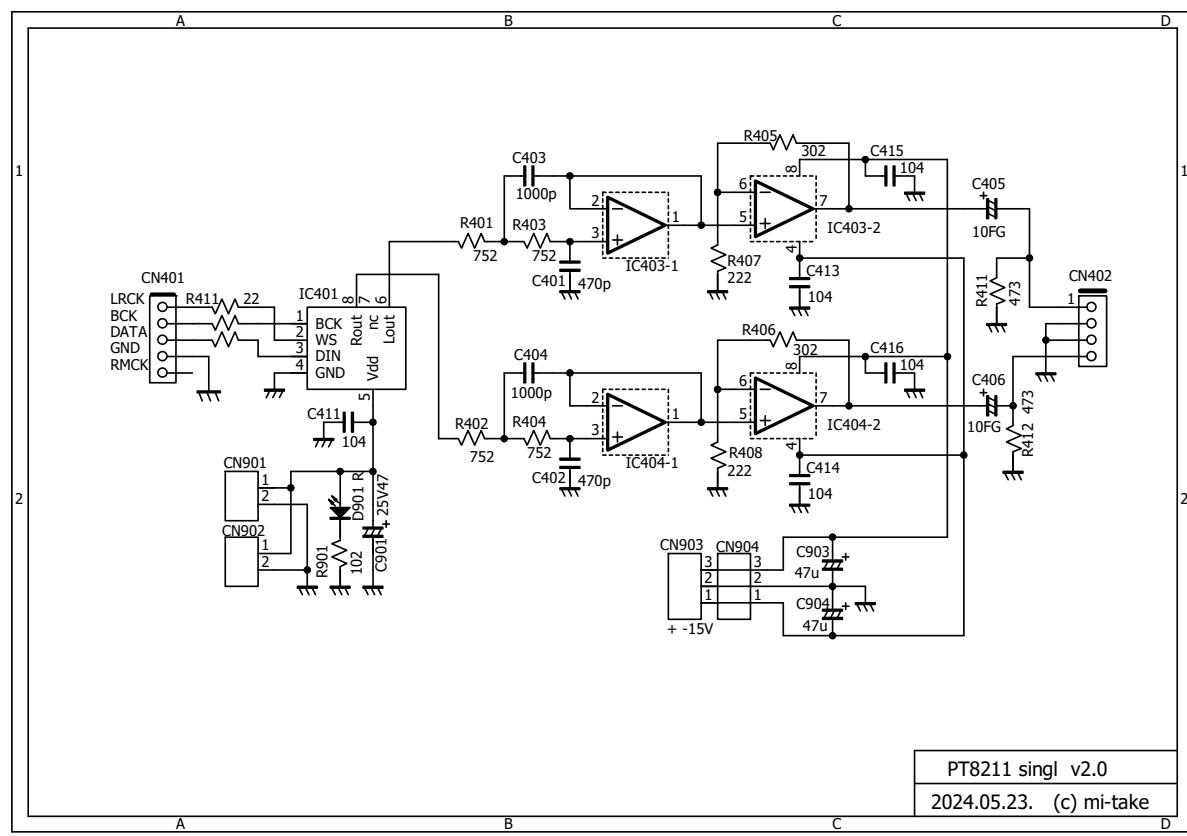
JP301-	ジャンパーの 有無		備考
	無し	有り	
1	同軸入力	光端子入力	
2	(予備)		
3		Right 24ビット	どこか 1か所 のみ
4	Right 16ビット	I2S 24ビット	
5		Left 24ビット	

デフォルト側

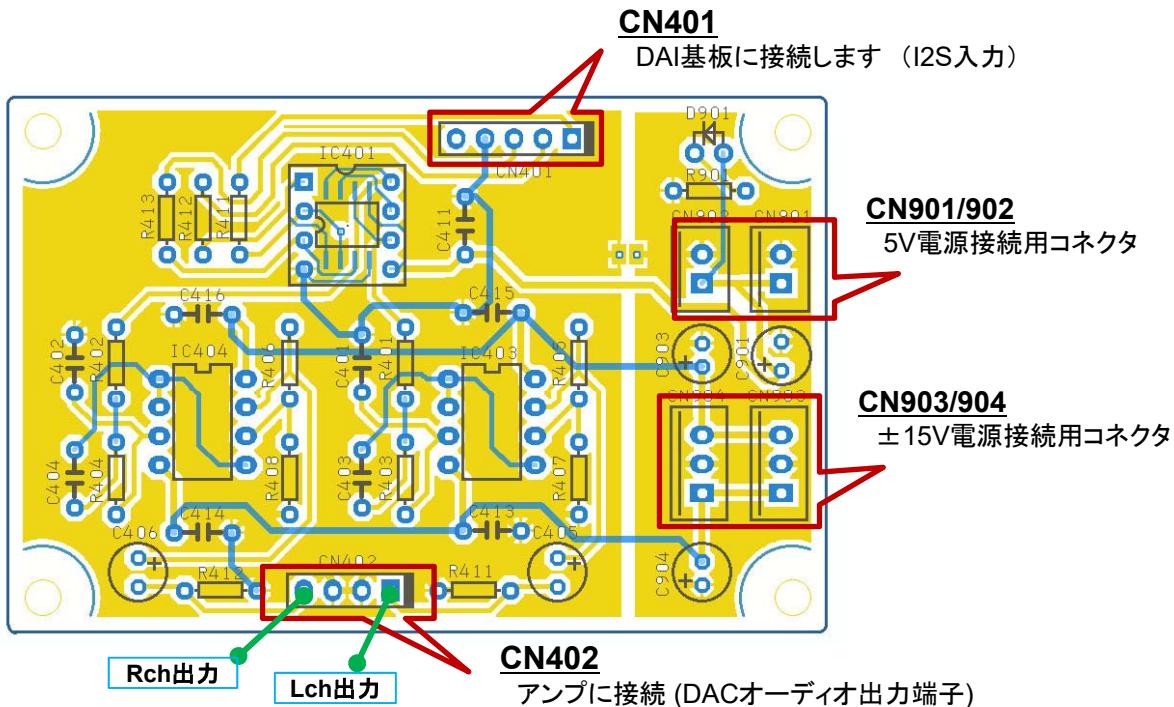
## DAI基板 参考回路図



## DAC 基板 参考回路図



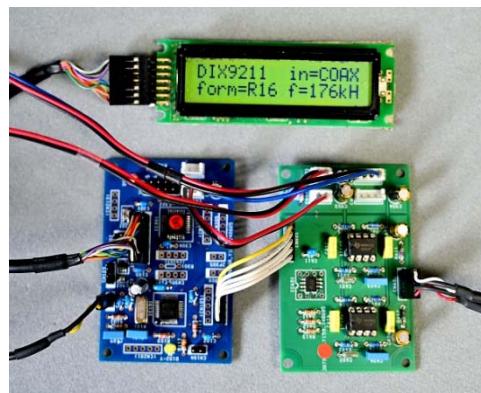
## PT8211 DAC基板 部品配置図



### 接続と動作

- CN901 は、5V電源に接続します。
- CN901/902 は並列接続となってます。
- CN903 は、±15V電源(±12V)に接続します。
- CN903/4 は並列接続となってます。
- CN401 はDAI接続用入力端子です。  
DAI基板と接続します
- CN402 はDACオーディオ出力端子です。  
アンプにつなぎます

### 基板の接続・動作例



※ 接続例では、LCDが接続されてますが  
無くても 動作には影響ありません。

### 使用上のご注意・制約事項など

- 半田ジャンパー設定はデフォルトでの使用をお勧めです。 設定を切り替えてのご質問にはお答えできかねます。

#### 履歴

Rev. 1.0 : 2024.09.18. 1<sup>st</sup> release  
Rev. 1.1 : 2025.07.07. 改訂 (基板単品追記)

#### [免責事項]

本キット及び 説明書は、万全を期して作成されておりますが、  
万が一、本キットを製作・運用した上で何らかの障害が発生しても  
当方では その責を一切負いませんので ご了承下さい。  
利用者の自己責任においてご利用をお願いいたします。

- 使用するケーブルやソケット等の色が写真と異なる場合があります。
- 性能改善のため予告無く仕様が変更になる場合があります。  
最新情報・関連技術情報を 下記 Mi-Take のホームページで  
提供しています。

<http://www.mi-take.biz>